

に福島県社会教育委員の定数及び任期に関する条例（昭和24年福島県条例第56号）

目的—社会教育に関する諸計画を立案し、会議を開き教育委員会の諮問に意見を述べ、又は必要な研究調査を行い、社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言する。

(1) 福島県社会教育委員名

(任期) 自昭和47年6月5日
至昭和49年3月31日

氏名	年齢	構 成	備 考
五十嵐秀夫	58	桑折町立桑折釺芳小学校	
佐藤 厚友	60	福島市立福島第三中学校長	昭和48年6月5日
中川 幸意	56	県立若松女子高等学校長	
山河 信海	58	県公連会長、福島市中央公民館長	
渡辺 忠夫	28	県連合青年会副会長	
市川 清純	28	県青年団連絡協議会長	
相川 清衛	62	県PTA連絡協議会長	
菅野八千代	58	県婦人団体連合会長	
添田増太郎	44	県議会議員	昭48・7・31退任
菊下 一雄	60	県議会議員	昭48・8・1就任
橋本 正一	63	新地町長、県町村会理事	
辺見 正治	59	県都市教育長協議会長、福島市教育長	
本多 隼男	51	福島民報社常務取締役論説委員長	
斎藤 英記	49	福島民友新聞社取締役編集局長	
太田美恵子	54	福島市教育委員、福島更生保護婦人会長	
西沢 長吉	63	元中学校長	
菱沼 儀	65	いわき市文化団体連絡協議会副会長	
松井 秀規	47	福島大学経済学部教授	
望木 昌彦	35	県青少年団体連絡協議会長（学法）尚志学園理事	
横井 嵩	37	県青年会議所会長	
渡辺 宏	49	会津若松市公民館長	昭48・7・31退任

(2) 会 議

① 第1回定例会

ア、期 日 昭和48年6月22日
イ、場 所 県庁西庁舎「教育委員室」
ウ、内 容

(ア) 諮問事項

諮問第1号 社会教育関係団体に対する昭和48年度補助金の交付について
諮問第2号 週休2日制の実施に伴う社会教育のあり方について

(イ) 協議事項

海浜青年の家の運営概要について

② 第2回定例会

ア、期 日 昭和48年8月28日
イ、場 所 県庁西庁舎「教育委員室」
ウ、内 容

(ア) 「週休2日制の実施に伴う社会教育のあり方について」（継続審議）

(イ) 今後の審議のすすめ方について

③ 第3・4回定例会

ア、期 日 昭和49年2月21・22日
イ、場 所 公立学校共済組合「あづま荘」
ウ、内 容

(ア) 諮問事項

週休2日制の実施に伴う社会教育のあり方について

(イ) 報告事項

昭和49年度社会教育課関係予算の概要について

3. 福島県文化財専門委員会

(1) 福島県文化財専門委員

氏 名	年齢	住 所	職 業	専 門 分 野	備 考
草 野 和 夫	43	郡山市朝日町1-9-2	東北工業大学教授	建造物	再任 工学博士
菊 地 貴 晴	53	福島市桜木町8-30	福島大学教授	絵画、彫刻	再任 文学博士
五十嵐 竹 雄	72	会津若松市馬場下2-1	無 職	絵画、彫刻	新任 会津若松市文化財調査委員
庄 司 吉之助	68	福島市山口市新町34-3	福島大学経済学部非常勤講師	書 跡	再任 農学博士
本 田 安 次	67	東京都中野区沼袋4-23-1	早稲田大学教授	芸 能	再任 文学博士 文化財専門審議会委員
山 口 弥一郎	70	東京都八王子市舟木町 創価大学教員宿舎	創価大学教授	民俗資料	再任 理学博士
岩 崎 敏 夫	63	相馬市小泉字根岸424	東北学院大学教授	民俗資料	再任 文学博士
伊 東 信 雄	65	仙台市八幡1-3-19	東北大学名誉教授	考古、史跡、埋蔵	再任 文学博士
梅 宮 茂	59	福島市北ノ前	川俣町公民館長	考古、史跡、埋蔵	再任 日本考古学協会員
田 中 正 能	54	郡山市赤木町20-2	無 職	史 跡	再任 郡山市地方史研究会長
安 田 初 雄	63	福島市桜木町60-7	福島大学名誉教授	名 勝	再任 理学博士
蜂 谷 剛	50	福島市森合字屋敷下7-22	福島大学教授	天然記念物（動物）	再任 県鳥獣審議会委員
吉 岡 邦 二	62	仙台市旭ヶ丘1-1-5	東北大学教授	天然記念物（植物）	再任 理学博士 文化財専門審議会委員
三本杉 己代治	67	福島市野田町字高野1-5	三本杉温泉開発研究所長	天然記念物（地質）	再任 理学博士 福島大学名誉教授
岡 田 茂 弘	41	仙台市台の原1丁目県公舎	多賀城研究所長	考古、史跡、埋蔵	新任 日本考古学協会員